

令和7年度 授業時数特例校制度の活用について

令和7年度から本校では、1・2年生で実施している「総合的な学習の時間」の授業時数を25時間拡大します。

1. 上幌向中学校としての「授業時数特例校制度」を導入する“ねらい”

総合的な学習の時間の授業時数拡大により、主に「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」の育成と「生命尊重教育」、「心身健康保持増進教育」、「教科等横断的な教育」「探究的な学習活動」の充実を図ります。

2. 導入により増減する教科等名及びその“時数見込み”[令和7年度 教科配当時数]

次年度は、3年生の実施を見送ります。1・2年生において、以下の教科から各5時間減じて、総合的な学習の時間を拡大します。削減した教科は、学習指導要領の観点に則った学習活動を維持できる範囲となっています(未履修等は生じません)。

※[]内は時数移動後

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	英語	道徳	学活	総合	総授業時数
1年	年間 時数	140 [135]	105 [100]	140 [135]	105	45	45	105 [100]	70	140 [135]	35	35	50 [75]	1015
	週	3.86	2.86	3.86	3	1.29	1.29	2.86	2	3.86	1	1	2.14	29
2年	年間 時数	140 [135]	105 [100]	105	140 [135]	35	35	105 [100]	70	140 [135]	35	35	70 [95]	1015
	週	3.86	2.86	3	3.86	1	1	2.86	2	3.86	1	1	2.71	29
3年	年間 時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
	週	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

3. 「授業時数特例校制度」導入後に“期待される効果”

以下の育成を目指す資質・能力は、「生徒との面談」「教職員の協議」「学校運営協議会熟議」から出ていた内容を学校教育目標に合わせてまとめたものです。授業時数特例校制度を含め、上幌向中学校として特色ある教育活動を行うことで、これらの力の育成を目指します。同時にこの力は、学力の3観点でもありますので、学力も自然と向上していくことが期待されます。

【上幌向中学校の育成を目指す資質・能力】

め ざ す 資 質 ・ 能 力	観点	【知】勉学、創造 ～確かな知性～	【徳】誠実、努力 ～豊かな感性～	【体】健康 ～健やかな心身～
	知識・技能	課題発見・解決能力	他者・他者理解力	自己管理能力
	思考力・判断力・ 表現力等	情報活用能力	状況把握力	自他のいのちを尊重
	学びに向かう力・ 人間性等	言語能力	主体性	柔軟性に考える力

『岩見沢型ピア・サポート』『キャリア教育』『学び合い・学び直し・新しい学び』等のカリキュラム編成を進めてまいります。